

日蓮大聖人のお言葉

文永十二（一二七五）年日蓮大聖人聖寿五十四歳の折、開宗当初からのご信者である池上兄弟にあてた書簡の一節です。お釈迦さまは、人の一生は「四苦八苦」と言われました。人生には頭を悩ませる煩わしいことが多々ありますが、眼前の苦しみのみにとらわれることなく、日々の生活の中で、法華経の教えに心を懸け、お題目をお唱えすることが、苦悩消滅の唯一の手だてであるとされています。

たとひいかんづる

煩わづらはしきことあらむも、

夢ゆめになりて、

只法華経の事のみ

さぐらせ給ふべし。

（兄弟抄）

株橋日涌上人御染筆「日日の信行訓」より転載



法華宗